

# 萌 MOE

第13号  
平成17年3月8日(火)

3月の積雪に驚きましたが、ようやく寒さも和らぎ、春を感じられる毎日となりました。

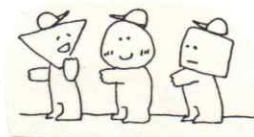
さて、広報委員会では従来、広報紙発行を主な活動としてきました。今年度は委員会の中で**【命の大切さ】**について意見交換の時間をとり、いろいろな角度から考える一年となりました。

「どうも最近、命が軽く扱われている気がする。」

事件の起きたたびに、怒りや悲しみを何処にぶつけたらいいのかも判らず、「命が大切だということは誰にでもわかっているはず・・・」というところからスタートしましたが、いろいろな報道によって必ずしもそうではないことが少しきこえました。

「命はよみがえる」と喜劇に生きる子どもたちがいるのです

「命は生きがえる」と答えた調査結果によると



「何故そう思うのか？」という問い合わせに対

・人から聞いた　・実際にみた（経験した）という答えが返ってきています

こういう話題になると、ゲームの影響だとよくいわれますが、果してそれで片づけられていいことなのでしょうか？確かにゲームの中では、リセットやコンティニューでキャラクターが復活しますが、ゲームの世界と現実の世界の区別がつかない人間に育つには何か原因がありそうです。テレビや雑誌でながされる情報に対しても、自分の頭で考えずに自分の知識として認識してしまう危うさはどこからくるのでしょうか？

私たち大人は子ども時代の思い出を、辛い経験や楽しい経験を全部まとめて「あの頃はよかったな。懐かしいな。」と振り返ることが多いように思います。今の子どもたちは将来どのように感じて、次の世代に何を伝えてくれるのでしょうか？

私たちが、今子どもたちに伝えられることは何かを、見つめなおしたいと思います。

◆ 「萌」11号では動物の誕生のことについてふれました。その後、人災や天災を含めいろいろな場面で「死」について考えました。委員会の度にいろいろな雑談の中から直接的な「生」や「死」ではなく、日常に起きるさまざまな小さなことが、大人や子どもに関係なく、「生きる意味」や「ひとりひとりの存在する価値」につながっていく。それこそが**命の大切さ**を考えることなのではないか、と感じられました。

◆ 何が正しくて、何がまちがっているのかと安直に答えのできるものではないと思いますが、皆さんと一緒に考えていくべきなと思っています。

# 身の回りのことから

宮崎小学校 白井 達夫

電車の中で、親は立っているのに、小学生高学年くらいの子どもが椅子に座っているという光景を見かけることがあります。

子どもにつらい思いをさせたくないというのは、親として誰もがもつ気持ちです。また、電車内で転んで怪我をしたらたいへんという心配も分からぬではありません。しかし、と私は考えます。

いつも快適な環境の中で過ごさせることができが本当の幸せにつながるのだろうか。親はいつまでも子どもを守り続けることはできません。子どもはいつか、親から離れて一人で生きていく。そのときに備え、多少のつらさを乗り越える力を育てることこそが大切なではないでしょうか。

また、こうも思います。

電車の中で転んだら、確かにたいへんです。だからといっていつも椅子に座らせていたら何の力も育たない。なるべく立たせておくことでバランス感覚を育てていく方が、子どものためになるとも言えそうです。いつも座席が空いているとは限りません。だとしたら、なるべく座らせることよりなるべく立たせ、自分を自分で守る力を育てることのほうが、安全上も有効かもしません。

そして、こんなことも考えます。

確かに長い間立っているのはつらい。旅行の帰りなどはなおさらでしょう。しかし、それがつらいということを知らなければ、お年寄りに席を譲ろうなどと思いつかないかもしれません。また、そのつらさに耐えるだけの力がなければ、やっぱり人に席を譲ろうとはしないのではないか。

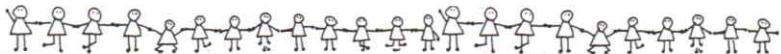
たかが車内で立つかどうかのことで、何をおおげさなと思われるでしょうが、これはあくまで一つの例え。こうした小さなことの積み重ねが、子どもの生き方を作っていくのだと思います。

少しの困難に耐えられず、自分の命さえ粗末にしてしまう子がいます。反対に他者の悲しみが想像できず、相手を傷つけてしまう子もいます。だからこそ、命の教育の必要性が叫ばれるのでしょう。命の教育なんて構えてしまうと何かとても難しいことのように感じてしまいますが、身の回りのことをちょっと見直すだけでできることが多いように思います。

地域教育会議がきっかけになって、学校や家庭、地域のいろいろなところで、いろいろな話し合いが行われるようになるといいですね。

今期最終号を発行するにあたり、宮崎小学校校長・白井達夫氏より手記を寄せていただきました。「命の大切さ」について、日頃、白井校長先生がお考えになっていることがよく伝わってきます。

**宮崎中学校区地域教育会議**は、まさに学校や家庭、地域の代表で構成されています。性別や年齢を越えて意見交換のできる場があることは大切なことだと思います。



## 顔と名前



「おはよう！」 「元気！」と声をかけるとき。  
「教えてもらえるかな？」ともものを尋ねるとき。  
相手の名前を知らなくても、言葉をかわすことで人との関わりが  
できます。でも、その時だけで終わってしまうかもしれません。  
相手の名前を知ることができて、顔を覚えることができたら、言  
葉を少しふやすことができるのではないか。  
「〇〇ちゃん、おはよう！」 「元気そうね！」  
「このあいだはありがとう。これも教えてもらえるかな？」

大人になっても、初めての場所で知らない人ばかりだとイヤなも  
のです。大人になって名札をつけることはなくなりましたが、名前  
を呼んでくれる友人、知人がいることで安心します。「わたし」・  
「ぼく」が存在していることになるからです。

## お弁当の時間



現在では小学校時代の給食の思い出は、なかなか楽しいことが多いよう  
です。家庭の味より好みに合った味があるほどで、種類も豊富です。給食  
当番や給食だよりから得る情報も心に残る理由なのかもしれません。

中学校や高校はどうなのでしょうか。朝食や夕食の量を考えると、これ  
くらいは食べるはず・・と作ったお弁当を残してくるお子さんがいます。  
「何故？」と聞くと、「時間がない」という答えだったそうです。中学生  
といえば食欲旺盛で、心身ともに十分な栄養が必要な時期。間食程度のか  
き込みごはんではなく、気分転換のおしゃべりも含めた食事時間を準備し  
てあげたいものです。又、そんな生徒を相手に日々奮闘される先生方の食  
事時間も大切なのではないでしょうか。



## 大人としてできることは・・・

身边でこんなことが起きています、実はこういうことが生きるとい  
うことにつながるのではないのでしょうか、と話が広がっていきました。

子どもが成長すると同時に、親も新しい経験をすることになります。  
その時に感じる「？」をみんなで声にだすことにより、実は以前から  
そうであったり、新規に起きてきた事だったり、ということがわかって  
きました。声にだすことで意見交換をしていきましょう。



## あなたも地域教育会議に参加しませんか！

宮崎中学校区地域教育会議・住民委員募集

地域教育会議は、  
子どもたちが健  
やかに育つ環境  
を作るために、学  
校と保護者と地  
域を結ぶ活動を  
しています。

活動は年に1回の総会、2ヶ月に1回の定例会議、広報、生涯学習、地域教育など各委員会の活動がありますが、現住民委員の方々も負担のないように参加しています。私たちと一緒に子どもたちの未来について話し合いませんか？お問い合わせは事務局までお願いします。

宮崎中学校 電話 866-3372

### 《住民委員募集要項》

- 1 任期：2年
- 2 募集期間  
平成17年3月14日～4月22日
- 3 委員の資格条件  
宮崎中学校区に在住で満20歳以上の方。  
教育会議の趣旨を理解し、ボランティアで活動に参加していただける方。
- 4 応募方法  
所定の用紙に必要事項を記入し、事務局（宮崎中学校内）に提出してください。  
応募用紙を用意してある場所は、宮崎中学校、宮崎小学校、梶ヶ谷小学校、西梶ヶ谷小学校です。

### \*\*\* Petit Column \*\*\*

#### 「今」を考える事の大切さ

お母さん  
そこにも ここにも あそこにも  
見える いのちが あふれてる  
見えない いのちも あふれてる  
お母さん 生んでくれて ありがとう  
お母さん 生まれてきて ごめんなさい



この詩は、麻生区に住む30才代の身体に障害をもつ青年の作です。生命の大切さをうたっているのです。ご存知のように、日本国内では若者による殺人事件が多発しています。これはなぜでしょう。ヒトとして、人間としての心の欠如に原因があります。それはなぜか。今こそ、私たちは考え、原因究明に総力をあげねばならない時です。

（及川 利男）

## INFORMATION

### 入学式日程

4月5日（火） 宮崎中学校  
宮崎小学校  
梶ヶ谷小学校  
西梶ヶ谷小学校

広報紙「萌」に対するご意見、  
ご感想はこちらへ！！  
Fax 044-855-1481

宮崎中学校区地域教育会議へのご意見、ご要望を  
お待ちしています。

〒216-0033 川崎市宮前区宮崎107  
宮崎中学校内 地域教育会議事務局

### ▼△▼△ 編集後記 ▼△▼△

宮崎中学校区の皆さん、ご卒業、ご入学おめでとうござります。私たち広報委員も一年間の締めくくりとして充実した「萌 MOE」13号をお届けしました。新年度もより一層頑張っていきたいと思います。これからもご支援、ご協力よろしくお願いします。（S）